

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	病理学 1 単位 15 時間		
開講時期	1 年次 後期		
担当教員	石山純三・下川怜子	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>現代において医師・看護師などが行う医療行為は、個人的な考えや習慣、経験に基づいて行うのではなく、科学的な根拠に基づいて行うことが求められる。病理学は、臨床医学に科学的根拠を与える重要な土台となっている。まず、病気について、原因やなりたちを学び、その後各々の器官に生じる病気ごとに、原因や病気のなりたちなどの特徴を理解していく。</p> <p><達成目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病理的状态の理解に必要な生体の反応と疾病のメカニズムをもとに病因・病態の特徴を理解する。 			
授業計画・内容・担当教員			
1 回目	<p>総論 1. 病理学で学ぶこと</p> <p>1) 看護と病理学 2) 病気の原因</p> <p>3) 病気の分類と病理学の学び方</p> <p>1. 細胞・組織の損傷と修復・炎症</p> <p>1) 細胞・組織の損傷と適応</p> <p>2) 細胞・組織の損傷に対する反応としての炎症</p> <p>3) 炎症の分類と治療</p>	講義 (石山)	
2 回目	<p>1. 免疫</p> <p>1) 免疫と免疫不全 2) アレルギーと自己免疫疾患</p>	講義 (石山)	
3 回目	<p>1. 感染症</p> <p>1) 感染の成立と感染症の発症 2) 主な感染症</p> <p>3) 感染症の治療・予防</p>	講義 (石山)	
4 回目	<p>1. 循環障害</p> <p>1) 循環器系概要 2) 浮腫 3) 充血とうっ血 4) 出血 5) 血栓症</p> <p>6) 塞栓症 7) 虚血と梗塞 8) 側副循環による障害 9) ショック</p> <p>10) 高血圧症 11) 播種性血管内凝固症候群</p>	講義 (石山)	
5 回目	<p>1. 代謝障害</p> <p>2. 老化と死</p>	講義 (下川)	
6 回目	<p>1. 先天性異常と遺伝子異常</p>	講義 (下川)	
7 回目	<p>1. 腫瘍</p>	講義 (下川)	
8 回目	<p>終了試験</p>		
評価方法	<p>終了試験 筆記 100% 石山 (60%) 下川 (40%)</p>		
受講生に対するメッセージ	<p>2 名の医師によるオムニバス形式の講義体系となります。よって、各講師の講義内容を理解することが求められます。事前事後学習を行って十分な理解ができるよう取り組んでほしいです。</p> <p>尚、講師の都合により、講義順番が多少ずれることがあります。掲載の回数目とはずれることがありますので、ご了承ください。終了試験は講義終了後、各先生の試験と一緒に実施します。</p>		
テキスト	<p>系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[1] 病理学 医学書院</p>		
参考書			